

別紙 1

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

住友精化グループの持続的成長において、カーボンニュートラルへの対応は、避けることのできない重要課題の一つである。当社グループは、温室効果ガス（GHG）排出削減に向けた取り組みを積極的に推進し、2050年カーボンニュートラル社会の実現に貢献する。

1. 自社からの GHG 排出量の削減

住友精化グループの生産活動に伴う GHG 排出量の最小化を実現すると共に、これらの技術をグループ各社へ展開していく。

2. 低 GHG 製品、環境貢献製品の提供

住友精化グループが提供する製品・サービスについて、GHG 排出削減のための革新を図り、LCA の観点からカーボンニュートラルに貢献する製品やソリューションを提供していく。

3. 炭素循環社会実現への貢献

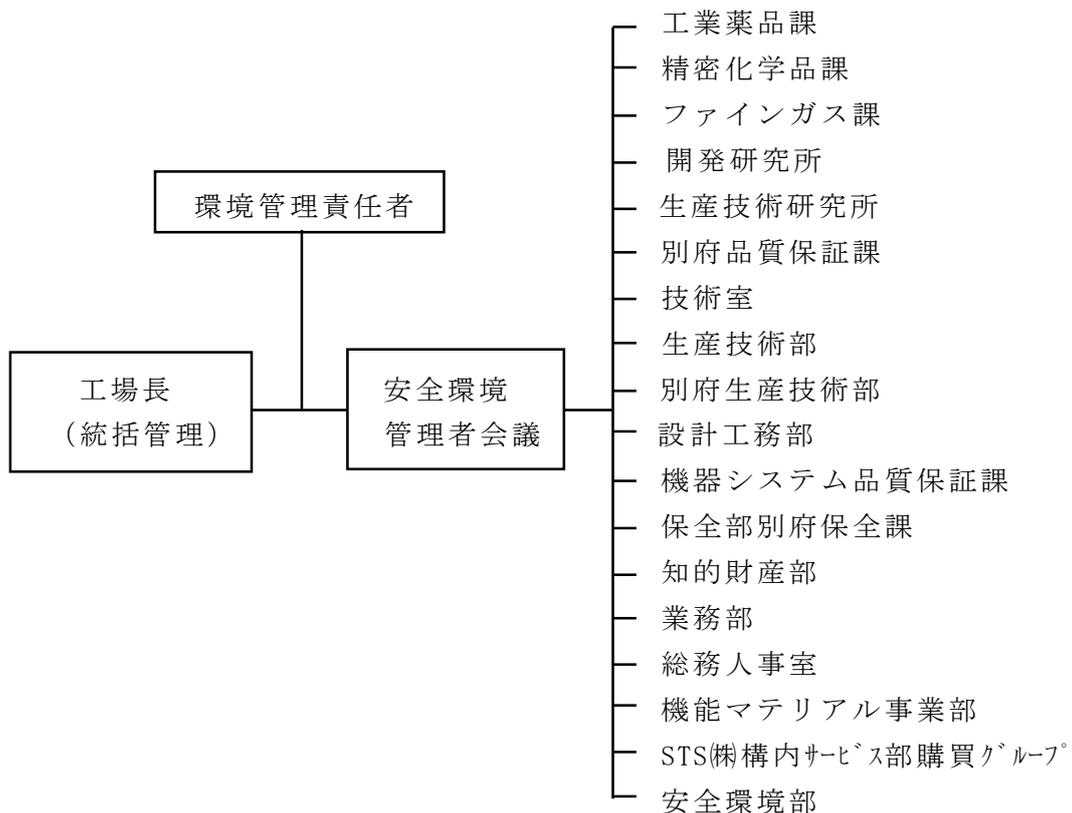
地域・社会と共生し循環経済を実現するために、GHG を回収・活用・固定化する技術革新を継続的に行っていく。更には、多様な構成メンバーと連携して、社会実装の具現化に貢献することを目標に掲げ、それを推進する。

年度毎の活動計画および活動状況報告は、弊社のホームページ、統合報告書等により公表いたします。

1-2 環境保全活動に関する組織体制

以下の環境保全活動に関する管理組織を推進母体として活動いたします。

（責任者：所長、部長、課長、チームリーダー）



別紙 2

2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
自動車公害対策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原材料調達で最適な輸送手段（貨物列車、船舶など）を採用し、帰り便を有効利用している 2. 車通勤を減らすため、社用通勤バスを利用 3. 出張用、広報用車両に、電気自動車を使用 4. 朝の定期立番による通行ルート、交通マナーのチェックを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物流部門で輸送管理、社内研修を継続する ・ 社用車更新時に電気自動車を導入していく
化学物質対策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 低濃度PCB廃棄物の処分を完了した 2. 有機溶剤、騒音等の作業環境測定を実施 3. 工場排水の連続監視 排水監視を安定させるため、簡易測定（パケット）を併用している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ PCB含有塗膜の有無に関する調査完了 ・ メイン排水管、排水ピットの定期洗浄を継続する
エネルギー対策	<p>エネルギー使用量は、前年より約4%減少</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 蒸気回収による余剰蒸気の再利用 2. 赤外線モニタで点検し、断熱不良箇所の補修を実施 3. 照明器具をLEDへ更新（水銀灯・蛍光灯：136灯）、空調機計画更新（13台） 	<p>以下の継続取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高エネルギー原単位プロセスの計画改善 ・ 高効率電気機器への更新 ・ 節電対応
廃棄物対策	<p>廃棄物の埋め立て量は、前年より約1%減少</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 分別徹底による廃棄物発生量の抑制 2. 自社焼却処理による外部委託量の削減 3. 外部処理委託先の適正な選定 4. 電子マニフェストによる処分廃棄物の適正管理（許可有効期限、処理完了の確認） 	<p>以下の継続取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物発生量の減少（有価物化、リサイクル、分別徹底） ・ 埋め立て量の抑制
緑化対策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緑地樹木の計画剪定による維持管理 2. 工場内緑地帯の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続取組 ・ 緑地帯の整備
グリーン購入	<ol style="list-style-type: none"> 1. 顧客からの環境影響調査に関する回答 2. 再生製品の優先購入（再生紙等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続取組
環境マネジメントシステム	<p>第6回更新審査を受審し合格</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境マネジメントシステムの継続的改善 2. 内部環境監査員（11名）の養成研修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回は2024年度に維持審査を受審する予定
環境教育	<ol style="list-style-type: none"> 1. 工場従業員へ毒物劇物の適正管理に関する集合教育を実施し、法管理意識の向上を図った 2. 社内掲示、管理者会議などで環境活動を啓蒙 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集合教育による法管理意識の向上を継続する
地域社会への参画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総合防災訓練を実施（地域への公開は、コロナウィルス感染防止対応により見送り） 2. 本荘港周辺の清掃活動を実施 3. 播磨町夏休みおもしろ教室で学童教育実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工場周辺の構外清掃活動を継続する ・ 地域貢献行事を計画していく
環境コミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統合報告書の発行 2. 自社産業廃棄物焼却炉の維持管理情報を毎月ホームページで公開している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続取組